

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年3月24日(2011.3.24)

【公開番号】特開2002-102357(P2002-102357A)

【公開日】平成14年4月9日(2002.4.9)

【出願番号】特願2001-233837(P2001-233837)

【国際特許分類】

A 61 F 2/84 (2006.01)

A 61 L 29/00 (2006.01)

【F I】

A 61 M 29/00

A 61 L 29/00 W

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月7日(2011.2.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

自己拡張型ステント用の供給装置において、

(a) 先端部および基端部を有する細長い管状部材を含む外側シースと、

(b) この外側シース中に同軸に配置される内側軸部と、を備え、

この内側軸部が先端部、基端部、および、これらの間に延在する長手方向の軸を有し、さらに内側軸部は、その少なくとも一部が、前記長手方向の軸に沿って延伸および圧縮できる柔軟なコイル状部材からなる、

供給装置。

【請求項2】

請求項1に記載の供給装置において、

前記コイル状部材がステンレス・スチールまたはニッケル・チタン合金からなる、  
供給装置。

【請求項3】

請求項1に記載の供給装置において、

前記外側シースが、外側ポリマー層、内側ポリマー層、および、これらの内側ポリマー層と外側ポリマー層との間のワイヤ補強層を有し、前記ワイヤ補強層は、前記内側ポリマー層および外側ポリマー層よりも剛性が高い、

供給装置。

【請求項4】

請求項1に記載の供給装置において、

前記内側軸部の前記先端部が、前記外側シースの前記先端部よりも先端側に延在し、前記内側軸部の前記基端部が、前記外側シースの前記基端部よりも基端側に延在している、  
供給装置。

【請求項5】

請求項1に記載の供給装置において、

前記外側シースが、その先端部からその基端部までその長さ方向に沿って増大するジュロメーターを有している、

供給装置。

**【請求項 6】**

自己拡張型ステント用の供給装置において、

(a) 先端部および基端部、および、内径および外径を有する細長い管状部材を含む外側シースと、

(b) この外側シース中に同軸に配置される内側軸部と、を備え、この内側軸部は、先端部、基端部、および、これらの間に延在する長手方向の軸を有し、さらに内側軸部は、その少なくとも一部が、前記長手方向の軸に沿って延伸および圧縮できる柔軟なコイル状部材からなるとともに、この内側軸部に取り付けられた停止部をさらに有し、この停止部が前記外側シースの前記先端部よりも基端側に配置され、

(c) 前記外側シースの中に配置されている自己拡張型ステントをさらに備え、この自己拡張型ステントが前記外側シースに対して擦接し、前記内側軸部が前記自己拡張型ステントの内孔部の中に同軸に配置され、この自己拡張型ステントが、このステントの配備中に前記停止部に対して当接する、

供給装置。

**【請求項 7】**

請求項 6 に記載の供給装置において、

前記コイル状部材が、ステンレス・スチールまたはニッケル・チタン合金からなる、供給装置。

**【請求項 8】**

請求項 6 に記載の供給装置において、

前記外側シースが、外側ポリマー層、内側ポリマー層、および、前記内側ポリマー層と外側ポリマー層との間のワイヤ補強層を有し、前記ワイヤ補強層が前記内側ポリマー層、および、前記外側ポリマー層よりも剛性が高い、

供給装置。

**【請求項 9】**

請求項 6 に記載の供給装置において、

前記内側軸部の前記先端部が、前記外側シースの前記先端部よりも先端側に延在し、前記内側軸部の前記基端部が、前記外側シースの前記基端部よりも基端側に延在している、供給装置。

**【請求項 10】**

請求項 6 に記載の供給装置において、

前記停止部が前記外側シースに対して実質的に全く擦接せず、前記停止部が放射線不透過性である、

供給装置。

**【請求項 11】**

請求項 6 に記載の供給装置において、

前記ステントが超弾性のニッケル・チタン合金からなる、  
供給装置。

**【請求項 12】**

請求項 6 に記載の供給装置において、

前記内側軸部が先端側部分をさらに有し、前記先端側部分が前記外側シースの外径よりも大きな外径を有する基端部を有し、前記先端側部分が放射線不透過性である、  
供給装置。

**【請求項 13】**

請求項 6 に記載の供給装置において、

前記外側シースが、その先端部からその基端部までその長さ方向に沿って増大するジュロメーターを有している、

供給装置。

**【請求項 14】**

自己拡張型ステント用の供給装置において、

(a) 先端部、基端部、および、内径と外径とを有する細長い管状部材を含む外側シースと、

(b) 前記外側シースの中に同軸に配置され、先端部、基端部、および、これらの間に延在する長手方向の軸を有し、さらに、少なくとも一部が、前記長手方向の軸に沿って延伸および圧縮できる柔軟なコイル状部材から構成され、前記コイル状部材がその外表面部に薄い層の被膜を有している内側軸部と、を備え、

(c) 前記外側シースの中に配置されている自己拡張型ステントをさらに備え、この自己拡張型ステントが前記外側シースに対して擦接し、前記内側軸部が前記自己拡張型ステントの内孔部の中に同軸に配置され、この自己拡張型ステントが、このステントの配備中に前記停止部に対して当接する、

供給装置。

【請求項15】

請求項14に記載の供給装置において、

前記コイル状部材がステンレス・スチールからなる、  
供給装置。

【請求項16】

請求項14に記載の供給装置において、

前記薄い層の被膜がポリマーである、  
供給装置。

【請求項17】

請求項14に記載の供給装置において、

前記外側シースが、外側ポリマー層、内側ポリマー層、および、前記内側ポリマー層と前記外側ポリマー層との間のワイヤ補強層を有し、このワイヤ補強層が前記内側ポリマー層、および、前記外側ポリマー層よりも剛性が高い、  
供給装置。

【請求項18】

請求項14に記載の供給装置において、

前記内側軸部の前記先端部が、前記外側シースの前記先端部よりも先端側に延在し、前記内側軸部の前記基端部が、前記外側シースの前記基端部よりも基端側に延在している、  
供給装置。

【請求項19】

請求項14に記載の供給装置において、

前記ステントが超弾性のニッケル・チタン合金からなる、  
供給装置。

【請求項20】

請求項14に記載の供給装置において、

前記内側軸部が先端側部分をさらに有し、この先端側部分が前記外側シースの外径よりも大きな外径を有する基端部を有している、  
供給装置。

【請求項21】

請求項14に記載の供給装置において、

前記外側シースが、その先端部からその基端部までその長さ方向に沿って増大するジユロメーターを有している、  
供給装置。